

12月度 例会 山行報告書		報告者	日置	参加 メンバー	CL: 日置 SL: 小田 神戸、松浦、方田 西川、館谷
個人		報告日	12/20		
山 域	南八ヶ岳	山行日	16年12月10日(土)		
山 名	赤岳鉾泉		～12月11日(日)		

山行目的	雪上訓練 (雪上歩行、滑落停止、ビーコン)	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-----------------------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者



2.5 万分の 1 地図 :

12/10 晴れ時々曇り	<役割>
03:00 集合	装備: 神戸
07:10 美濃戸到着	食料: 西川
08:00 開会式・出発	天気: 館谷
10:30 訓練開始	会計: 方田
11:30 中山	記録: 松浦
12:30 ショウゴ沢訓練	
15:00 下山	
19:30 就寝	
12/11 晴れ時々曇り	
06:00 赤岳組出発	
06:30 硫黄岳組出発	
09:00 硫黄組登頂 赤岳組登頂	
10:45 硫黄組下山	
11:10 赤岳組下山	
11:45 閉会式	
14:00 帰路	
18:25 DN 本社	

<山行報告> 集合早々ハプニング発生。神戸さんが寝坊し直接現地へ向かうことになった。偶然にも美濃戸口手前のコンビニで合流。揃って美濃戸まで。

少し早目の開会式後、赤岳鉾泉へ向け出発。雪のさほどない北沢を歩き赤岳鉾泉に到着すると、目の前にアイスクャンディーが飛び込んできた。それを横目にテント設営。設営後、訓練へ出発。全員で中山展望台を目指す。展望台からは阿弥陀岳から大同心まできれいに望むことができた。

その後、中山展望台下にある斜面にて訓練開始。まずはアイゼンなしキックステップでの登り。トラバース時の足運び、滑落停止、ビーコン探索(埋没)と盛りだくさんの訓練を実施。特に滑落停止の体を回す方向について修正(ヘッドを持っている側、右手でヘッドを持っていたら右肩方向へ回る)が入った。実際やってみるとなるほど、やりやすい。有意義な訓練をすることができた。

日が沈み気温がぐんぐん下がっていく中、テントでは西川料理長による鍋がふるまわれた。食材で5kg以上あり、担いだ分おいしく且つ量も多く3回戦+αのうどんまで。ごちそうさまでした。

翌日 DN は、赤岳組と硫黄岳組(トヨタへ合流)に分かれ出発。硫黄岳組は西川、日置でトヨタのヤング新人に混じり出発。雪の夏道をトレースし松目分岐の稜線まででた。その後、頂上の平ら手前の岩陰でペースの上

がらない西川さん(谷澤さんとマンツウ)を待ち、揃って無事登頂。強風のため写真撮影後、速攻下山した。ケガ人も出ることなく下山できた。(赤岳組は右欄参照)

トヨタの21才新人が終始元気よく良いムードメーカーとなっていた。天気も良く充実した訓練とすることができた。

赤岳組は地蔵尾根(小田・館谷)、文三郎尾根(神戸・松浦・方田)の、それぞれ精鋭その他もろろ難なく登頂。がしかし風の強い中、赤岳頂上山荘に着くと、山頂の方から「おーい」と手を振る三人組が。文三郎組&地蔵組で写真が撮れるなど思いながら近づくも、山頂に着いた頃には三人の影も形もなく。寒さのあまり下山してしまっていた。よって頂上での出会いは無かった。その後、無事下山し合流した。

<リーダー所見> 訓練では木田さんを独占するような感じで学ぶことができ大変勉強になったと思います。これからの山行で反すうし血肉となる様にしていきたいと思います。

メンバの皆がそれぞれの役割について勝手が分かっており、未熟な CL をサポートしてくれました。おかげで楽しく素晴らしい訓練で終わることができました。ありがとうございました。

確認

日
16.12.19
置

作成
(報告者)

松
16/12/23
浦